



第3章 景観形成方針

1. 良好な景観形成に関する方針

(1) 目標

—— 緑や生活が共にある「幾つもの豊かな暮らし」 ——

森町は太田川を中心に三方を山に囲まれた、緑豊かなまちです。市街地を取り巻く丘陵地には里山や茶園が広がり、住宅街では庭先や道路上の小さな緑が、社寺では花々や紅葉などが、畑や水田では野菜や稲穂が訪れた人を出迎え、四季ごとに暮らしを彩ります。さらに、音や香り、触感、味わいによって楽しむことができる多様な緑があります。

また、「遠州の小京都」と呼ばれ、昔ながらの町並みや由緒ある社寺も多く、古くから伝承されてきた舞楽や祭りなどが暮らしの中に息づいているほか、川での水遊び、太田川堤防等での散歩、日常にお茶を味わう文化など、多彩な緑や文化とともに暮らしが営まれています。

このように森町の景観は、緑と人々の生活が一体となって形成されており、地域の人々が暮らしや^{なりわい}生業の中、守り育ててきました。

さらに、これらの景観は、太田川沿いを移動する中での景観の移り変わりや、神社への参道で商店や緑の景観が出迎え、徐々に気持ちが高まっていく様子など、連なりの中で魅力を高め、訪れた人を出迎え、楽しませています。

森町を取り巻く社会情勢が変化する中でも『まちを持続し、「豊か」に暮らし続ける』ため、これからも良好な景観を守り・育て、後世につないでいきます。

(2)景観形成の基本方針

総合計画や都市計画マスタープランの考え方のもと、『まちを持続し、「豊か」に暮らし続ける』ため、以下のとおり、景観形成の基本方針を定めます。

なお、ここで言う「景観づくり」とは、景観を「守る」、「創る」、「磨く」、「活用する」など景観に関わる取組の総体とします。

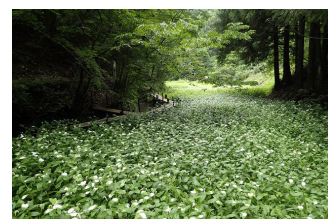
① 五感で感じられる景観づくり

- 森町の景観は、見るだけでなく、香り、聞き、味わい、触れることができる、五感で感じられる景観であるという特色があります。
- 視覚的な美しさを維持するだけでなく、森町の豊かさを体感・体験できるような景観づくりを心掛けます。

【五感で感じられる景観の例】

－ 自然景観

- 四季で移ろう自然の色や香り、触感
 - ・ 新緑の匂い・季節の花の匂い
 - ・ 梅雨のカエル、夏のセミ、秋のスズムシなどの四季折々の音
 - ・ 冷たくて気持ちの良い川の水や音
 - ・ お茶の香り



－ 集落景観

- 斜面地に広がる茶畑や南部の広大な田畑の匂いや、誰もが笑顔になる味わい
 - ・ 田畑の土の匂い、稲穂の香り
 - ・ 森町で作られるお茶の味わい、甘々娘などのスイートコーンの味、皇室にも献上される森の次郎柿
 - ・ 新茶の柔らかい穂先



－ 歴史・文化景観

- 熱気を感じる祭り
- 社寺における伝統行事



－ 活動景観

- 森町体験の里アクティ森で自然や文化に触れ、楽しむ
- 天竜浜名湖線が住宅地や田畑の中を、音を立てて走る
- 子ども達に農林業の体験・農村生活・自然体験活動・食や伝統文化を伝える、農業ツーリズムの推進（森町ツーリズム研究会）
- 地区の魅力を楽しむグリーンツーリズム（天方ミーティング）



- ・ 「目指せ！住みやすい天方」をスローガンに2019年（平成31年）からアンケートやワークショップを実施。その中で住民の関心が高い活動としてイベント開催に関わる活動が多く上げられたため、「交流」をテーマに「農村を楽しもう！グリーンツーリズム（販売・食事・体験・加工・宿泊）」についてアイデアを出し合い、地域を楽しむ「お月夜さんぽと自得院茶会」を実施

② 四季の移ろいが感じられる景観づくり

- 春は桜、夏は半夏生^{はんげしょう}、秋は紅葉、冬はサザンカなど、森町の景観は変化に富んでいます。
- 季節に合わせて行われる農業やお祭りなど人々の営みも、森町の個性豊かな景観を生み出しています。
- 四季の移ろいが感じられ、見る人に安らぎや感動を与える景観づくりに努めていきます。

【四季の移ろいを魅せる景観の例】

ー 自然景観

- 町内各所の桜、市街地を囲む丘陵地や山間地等の新緑など、四季折々色彩豊かな美しい景観

- ・ 春は太田川沿いや北部の桜、木々の新芽、夏は青々とした農地や森林、秋は紅葉、冬はサザンカ

- 四季に合わせて移り変わる、美しい星空の景観

ー 集落景観

- 四季によって移り変わる広大な農地の景観

- ・ 新茶等の青く若い芽と周辺の新緑が広がる春の農地景観
- ・ スイートコーンやなす・きゅうりなど野菜の実が付き、初夏の訪れを感じさせる青々とした夏の農地
- ・ 黄金色の稲穂が揺れる秋の農地景観
- ・ 冬のレタス畑の景観

ー 都市景観

- 民家の庭に植えられた花や木々の緑や街路樹が町を彩る、潤いと落ち着いた着きのある緑豊かな住宅地景観

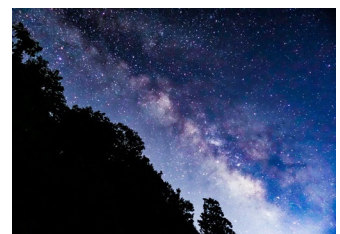
ー 歴史・文化景観

- 社寺の花々や紅葉など、歴史の中で四季の移ろいを感じさせる景観

- ・ 極楽寺のアジサイ、香勝寺のキキョウ、小國神社の紅葉や菖蒲^{しょうぶ}

ー 活動景観

- 太田川の水面に映し出される納涼花火、青い空を悠々と舞う森のぶか^{たこ}の景観



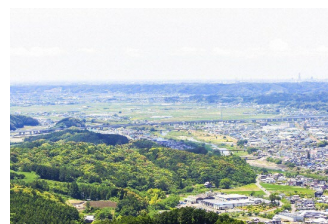
③ 歴史ある社寺・町並み・伝統文化を活かした個性ある景観づくり

- 森町には、小國神社を始め歴史ある社寺や、宿場町の風情や蔵のある町並みが残され、暮らしの舞台や交流人口を集めるイベントの舞台となっています。
- 今後も森町の歴史を感じさせる景観資源を残し、まちづくりの資源として活用するなどの景観づくりに努めます。

【歴史ある社寺・町並み・伝統文化等の個性ある景観の例】

ー 自然景観

- 歴史の面影を残す戦国夢街道・東海自然歩道や天方城跡、歴史民俗資料館周辺から市街地を見下ろす眺望景観



ー 集落景観、都市景観

- 秋葉街道の常夜灯など、市街地においても歴史の面影を感じることができる景観



ー 歴史・文化景観

- 本町（ほんまち）から城下の街道は、古い蔵や格子戸の旧家などが残り、生活の中で営まれてきた歴史的な景観
- 小國神社や友田家など、森町を代表する歴史的資源が見せる景観
- 町民に愛され、大切に守られる次郎柿の原木



ー 活動景観

- 歴史ある町並み景観を活かしたイベント「町並みと蔵展」
 - ・ 秋葉街道の面影を残す古い蔵や旧家、商店などを開放し、地元の歴史資料、絵画、古民具などの展示や地場産品の販売などが行われる。森町の貴重な「町並みと蔵」を知ってもらうこと、町内の皆さんの協力を得て「森町らしさ」を演出して街中にお客様をお迎えすることを目的にイベントが行われている。
- 歴史や文化を継承するお祭りや伝統行事の開催
 - ・ 社寺等の多くの歴史資源、歴史や文化を感じさせるお祭りや伝統行事。
 - ・ 小國神社・天宮神社・山名神社の舞楽、小國神社の田遊び、石松まつり、森のぶか^{ふか} 等
 - ・ 森のまつり等の祭典での二輪屋台の引きまわし



④ 協働で^{たの}愉しむ景観づくり

- 森町の景観は、町民・事業者・行政の協働により、暮らしや^{なりわい}生業の中で形成されてきたものです。このことが、景観を身近なものとし、また愛着を深めてきました。
- 今後も景観を町の資産として、次代に引き継げるよう、協働で景観づくりに取り組んでいきます。
- この際、景観づくりは長い時間をかけて取り組むものであることから、日々の小さな活動を大切に、暮らしや^{なりわい}生業の中で^{たの}愉しみながら進めていくことも肝要です。

【協働で生み出してきた景観の例】

ー 自然景観

- 間伐など人の手が入り、きれいに整えられた森林景観
- 豊かな自然と生活を守る太田川ダムの景観



ー 集落景観

- 暮らしや^{なりわい}生業の中で生み出されてきた農地、集落、自然が一体となって形成される農村景観



ー 都市景観

- 民家の庭に植えられた花や木々の緑や街路樹が町を彩る、潤いと落ち着きのある緑豊かな住宅地景観
- 周辺との景観に配慮した緑に囲まれた工業地景観



ー 活動景観

- 町民が主体となった花植えや清掃活動、イベント等が道路沿いや公園、河川沿いで行われており、町民の手で愛着をもって守り育てる活動景観がある
 - ・ 公園利用者を楽しませるよう、花壇や空き地に花を植樹し、潤いのある景観を創出
 - ・ 大洞院へ観光客を誘致するため、町民の森北ゲートから大洞院へ続く道沿いに花を植え、花のある景観を創出
 - ・ 「森ほたる」と名付けられた^{あんどん}行灯を沿道や家の軒下にともし、昔ながらの夕涼みを楽しむことで、地域のコミュニケーションを推進。街角ライブなどの「見にイベント」を開催し、より多くの外出やにぎわいの景観を創出



⑤ 移動の中の移り変わりで魅せる景観づくり

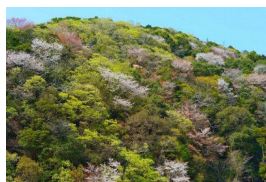
- 森町の景観は、太田川沿いを移動する中での景観の移り変わりや、神社の参道で商店や緑の景観が出迎え、徐々に気持ちが高まっていく様子など、幾つかの景観要素が連続して見られることでさらに魅力が高まり、訪れた人を楽しませています。
- これからも、移動するにつれて移り変わる景観（シークエンス景観※）が維持・創出されるよう、景観をつなぎ、整え、引き立てる等の景観づくりに努めます。

※ シークエンス景観：視点を移動させながら次々移り変わっていくシーンを継続的に体験する景観。具体的には散策路での歩きながらの景観や道路からの自動車等からみた景観のことを指す。（出典：海岸林との共生、山形大学出版会）

【シークエンス景観の例】

- 山桜や新緑に彩られ、進むたびに緑と生きものの息吹を感じる山々と集落の景観

・ 春になると山々が山桜や新芽に彩られ、山間の道を進むたびに美しい色に染められた山々と集落がセットになった美しい景観の中で谷に響き渡る鳥の美しい鳴き声を一体で楽しむことができる。



- 太田川沿いの、目に映る緑や暮らしが変わっていく景観

・ 上流部に向かうにつれ、広大な農地と幅の広い穏やかな河川景観から、列車や人々が橋を渡り行き交う景観、山々が周囲を囲み始め、川幅が狭くなっていくことで河川と緑が一体となった景観と移り変わっていく。



- 城下～森町体験の里アクティ森～かわせみ湖の、歴史、集落、自然が移り変わっていく景観

・ 城下～かわせみ湖までの道のりは森町を楽しむルートの一つであり、城下町の歴史を感じさせる町並み景観～山間にある田畑や集落を感じさせる景観～森町体験の里アクティ森でゴルフや森町を楽しむ景観～かわせみ湖周辺の自然に囲まれた壮大な景観などを楽しむことができる。



- 本町～城下の歴史と人々の生活を感じる景観

・ 宿場の趣が残る本町の町並みは、なまこ壁の蔵や格子戸の旧家などが並び今でも歴史的な風情が残るとともに、人々の暮らしを感じさせる。
 ・ また本町では歴史を感じさせる建物や蔵を活用した「町並みと蔵展」が実施されており、灯籠がともされた道を歩くと地域への愛着を感じることができる。
 ・ 城下町を感じさせる町並みは、ノコギリの歯のように斜めに建物が立ち並び、進むごとに移り変わる景観を見ることができる。



- 明神通り～小國神社までの、お店や緑が出迎え、徐々に気持ちが高まっていく景観

・ 小國神社の参道である明神通りでは、自然や一宮川の景色が出迎え、参道を進むにつれ見えてくる和風の商業施設は来訪者でにぎわう景観が見られる。
 ・ 小國神社方面にさらに進むと沿道に桜並木が並び、敞かな空間へと導かれる。



2. 計画の実現に関する施策

良好な景観形成を図るため、「景観形成の方向」を5つの景観形成の基本方針ごとに整理します。
また「具体的な施策」を上位関連計画と連携して実施することで、景観形成を促進します。

① 五感で感じられる景観づくり

ー 自然景観

森林・丘陵地・
里山・社寺林
など、生活に
身近な緑

- 市街地及び既存集落地の良好な背景となる自然景観として保全する。
- ハイキング・サイクリング、森林浴など、健康づくりや観光交流を図る場として、また自然とのふれあいの場、憩いの場として活用を図る。
- 城ヶ平公園や町民の森、さざんか荘跡地、庵山、旧森中学校跡地等は、良好な眺望景観が得られることから、保全・整備を図る。

太田川・
三倉川などの
河川

- 生活に潤いを与える身近な水辺景観として、川のもつ治水・利水機能を考慮しつつ周辺環境や景観に配慮した河川整備を推進するとともに、水質の浄化などにより保全する。
- 川遊び、アユ釣り、散策・サイクリングなど、自然とのふれあいの場として活用を図る。

太田川ダム・
かわせみ湖
周辺

- 北部の山間地におけるランドマークとなる景観として、豊かな森林などの緑の景観と調和を図りながら公園や遊歩道などの整備を促進し、保全、活用を図る。

ー 集落景観

南部に広がる
田畑・中山間
地に広がる
茶園など

- 生活とともにある農業景観として、都市的土地利用と調和を図りながら農地の保全、整備に努める。
- 農業の活性化により景観を保全するという観点から、グリーンツーリズム、農産物のブランディング等、田畑・茶園景観の活用を推進する。
- 農産物生産以外での利用や、農産物のブランド化、農地の集団化・流動化等により、耕作放棄地の利用促進を図る。

ー 歴史・文化景観

伝統的な行事
・
季節ごとに行
われる行事

- 地域の自然・歴史・風土に培われた生活の中に息づく文化景観として、町民による自主的な文化活動や、文化団体、指導者・文化財伝承者の育成を支援し、継承に努める。

ー 活動景観

伝統的な行事
・季節ごとに行
われる行事

- 森町体験の里アクティ森やコテージ・アクティ、吉川キャンプ場などは、自然を楽しむ活動景観がある場として適切な維持管理を進め、これからも活用を続けていく。

■ 良好な景観形成にも寄与する具体的な施策（例）

自然景観	・森林整備促進事業の推進 ・間伐事業の推進 ・森林認証制度の普及と認証取得の促進 ・ハイキングコースの利活用 ・自転車を活用した観光振興 ・町民の森の維持管理 ・河川改修事業、除草・支障木の伐採 ・町民や企業との協働による環境美化活動の促進 ・太田川と親しむ空間の整備 ・観光漁業の推進 ・自転車を活用した観光振興
集落景観	・多面的機能支払交付金事業の推進 ・中核的担い手となる認定農業者の育成 ・水田農業対策事業の推進 ・茶業振興事業の推進 ・農業後継者育成事業の推進 ・グリーンツーリズム事業の展開 ・急須でお茶を飲む町づくりの推進 ・6次産業化推進事業の推進 ・土地基盤整備事業の推進 ・遊休農地の有効利用の促進
歴史・文化景観	・町民の文化活動支援

② 四季の移ろいが感じられる景観づくり

－ 自然景観

森林・丘陵地・
里山・社寺林
など、生活に
身近な緑

- 良好な自然緑地として保全するとともに、四季折々の風景を演出する景観要素として保全を図る。

－ 集落景観

南部に広がる
田畑・中山間
地に広がる
茶園など

- 四季によって田畑や茶園の色彩が移り変わるため、生活を彩る景観として、都市的土地利用と調和を図りながら農地の保全、整備に努める。
- 農業の活性化により景観を保全するという観点から、グリーンツーリズム、農産物のブランディング等、田畑・茶園景観の活用を推進する。
- 農産物生産以外での利用や、農産物のブランド化、農地の集団化・流動化等により、耕作放棄地の利用促進を図る。

－ 都市景観

家の庭に植え
られた花や
木々の緑や街
路樹など

- 潤いと落ち着きのある四季の彩りがある住宅地景観の形成・創出のため、建築物の適切な配置誘導と生け垣や庭木等による緑化推進など、地区計画制度や建築協定等を活用した町民の自主的な活動を支援する。

公園などの
公共空間

- 町民や地域の協力を得ながら、花や樹木による豊かな緑地スペースの確保に努める。

－ 歴史・文化景観

神社や寺院を
彩る
花木や紅葉

- 歴史とともに四季の移ろいを感じさせる景観が多く存在し、町民や観光客をひきつける要素となっているため、これからも保全を図る。

伝統的な行事
・季節ごとに行
われる行事

- 体験型・交流型観光商品等と四季折々で楽しめる花めぐりや祭事、定期開催のイベントとの連携を図っていくことで、付加価値を高めていく。
- 地域の自然・歴史・風土に培われた生活の中に息づく文化景観として、町民による自主的な文化活動や、文化団体、指導者・文化財伝承者の育成を支援し、継承に努める。

■ 良好な景観形成にも寄与する具体的な施策（例）

自然景観	・森林整備促進事業の推進 ・間伐事業の推進 ・森林認証制度の普及と認証取得の促進 ・グリーンバンク事業の推進
集落景観	・多面的機能支払交付金事業の推進 ・中核的担い手となる認定農業者の育成 ・水田農業対策事業の推進 ・茶業振興事業の推進 ・農業後継者育成事業の推進
都市景観	・グリーンバンク事業の推進 ・地区計画制度の活用 ・建築協定制度の活用
歴史・文化景観	・四季のイベント、祭事等との連携による高付加価値化

③ 歴史ある社寺・町並み・伝統芸能を活かした個性ある景観づくり

－ 自然景観

歴史の面影を残す
天方城跡や
東海自然歩道
など

- 天方城跡が残る城ヶ平公園は、歴史や自然がセットとなった景観を感じる場として活用するとともに、良好な眺望景観が得られることから、眺望点として維持・保全を図る。
- 由緒ある寺院を結び、歴史の面影を残す東海自然歩道や、戦国時代の伝説が残る戦国夢街道ハイキングコースは、適切な維持・管理を継続する。

－ 集落景観

歴史の面影を残す景観

- 秋葉街道の常夜灯など、市街地においても歴史の面影を感じることができる景観の保全を図る。
- 小國神社につながる沿道は、遠州森町スマートインターチェンジの周辺活用により、地域固有の歴史・文化等を活かした施設の整備などへの波及を狙う。

－ 歴史・文化景観

歴史的な施設・社寺・伝統
工芸等の歴史
文化資源

- 数多くの貴重な歴史・文化景観資源の保全に努めるとともに、地域の生活の中に息づく文化として継承し、資源のネットワーク化や案内施設の充実などの環境整備を推進して活用を図る。

本町から城下の
街道の町並み

- 現存する旧家や蔵などを日々の暮らしや地域の活動の中で利用する取り組み等により保存と利活用を図るなど、歴史的町並み景観の維持・形成に向けた取り組みを促進する。
- 良好な景観の形成と風致の維持を図り、また、安全な都市活動を支えるため、屋外広告物の規模・意匠などについて適正な設置誘導を図る。
- 空き家や空き地等の低・未利用地は、景観を悪化させるだけでなく、地域の魅力や安全性の低下にもつながることから、森町空家等対策計画に基づく取り組みや立地適正化計画の誘導施設・誘導施策等により、利活用に努める。

歴史的な
景観資源が
あるエリア

- 重点的に景観形成を図るべきエリアにおいて、目指すべき姿（景観ビジョン）やそれに向けた具体施策などを示し、観光客の満足度向上や住民の誇りや愛着の醸成を図るため、観光地エリア景観計画の策定を検討する。

ー 活動景観

伝統的な行事
・季節ごとに行
われる行事

○ 地域の自然・歴史・風土に培われた、生活の中に息づく文化景観として引き継ぎ継承していくため、町民による自主的な文化活動や、文化団体指導者・文化財伝承者の育成を支援する。

歴史的な資源
を活用した
イベント

○ 「町並みと蔵展」や「森ほたる」、「ぷぶふの日」などは活動とセットで自然景観や歴史景観を感じることができるため、各地で開催されているイベントを運営する組織など、町民等を主体としたまちづくり活動組織を把握するとともに、組織同士の連携が図れる場や機会を創出する。また、これらの組織と連携・連動により、「遠州の小京都」が感じられるもてなしを実施していく。

■ 良好な景観形成にも寄与する具体的な施策（例）

自然景観	・森林整備促進事業の推進 ・間伐事業の推進 ・森林認証制度の普及と認証取得の促進 ・グリーンバンク事業の推進
都市景観	・玄関口となる新東名高速道路インターチェンジや駅などから観光スポットまでの、わかりやすい案内サイン整備
歴史・文化景観	・観光協会との連携強化 ・国指定文化財等の調査研究と公開 ・重要な歴史資料の調査及び保存 ・玄関口となる新東名高速道路インターチェンジや駅などから観光スポットまでの、わかりやすい案内サイン整備 ・主要観光施設やまちなか等への「遠州の小京都」の説明看板の整備 ・町並み整備の推進 ・古い町屋や蔵の価値を再認識するための調査及び保全活動の推進 ・町屋や蔵の活用による「遠州の小京都」を演出した、まちなかにおける観光案内、観光商品・物産の販売の拠点の創出 ・拠点における多目的活用方法の検討 ・歴史文化を ^い活かした地域振興（文化財保存活用地域計画策定） ・屋外広告物の規制検討 ・空き家・空き地の利活用の促進（空き家・空き地バンク、移住コーディネーター、地域おこし協力隊） ・店舗・事業所（サテライトオフィス含む。）設置の推進 ・その他、森町空家等対策計画に基づく施策の推進 ・観光地エリア景観計画の策定検討
活動景観	・町民の文化活動支援

④ 協働で^{たの}愉しむ景観づくり

ー 自然景観

森林・丘陵地・里山・社寺林など、生活に身近な緑

- 町民参加によるイベントなどを通じて、森林のもつ多面的な機能や林業の大切さ、森林整備の必要性などに関する理解を促進する。

河川

- 河川美化運動などにより、良好な河川環境を保全する。

ー 集落景観

南部に広がる田畑・中山間地に広がる茶園など

- 農業の活性化により景観を保全するという観点から、グリーンツーリズム、農産物のブランディング等、田畑・茶園景観の活用を推進する。
- 農産物生産以外での利用や、農産物のブランド化、農地の集団化・流動化等により、耕作放棄地の利用促進を図る。

水田地域や里山などの周辺に点在する既存集落地

- 農家住宅を主とした建築物や生け垣・屋敷林等の保全により、周辺環境の保全と、それらに調和した落ち着いたある良好な田園・里山集落景観の維持を図る。
- また、山里の魅力と暮らしぶりを伝え地域活性化を目指す「ぷぷふの日」など、集落地景観を^い活かした取り組み支援を図る。

ー 都市景観

住宅地

- 良好な町並み景観の形成・創出により居住地としての魅力と価値を高めていくため、建築物の適切な配置誘導と生け垣や庭木等による緑化を推進するなど、地区計画制度や建築協定等を活用した町民の自主的な活動を支援し、周辺環境と調和した落ち着いたある緑豊かな住宅地景観の形成・創出を促進する。

公共施設

- 多くの利用者があり市街地内のランドマークとなる大規模施設は、都市のイメージを形成する重要な役割を持つため、緑地スペースの確保に努めるとともに、施設の良好な景観形成のための配慮と合わせて、周辺の環境整備を進める。

産業系土地利用・産業系土地利用を検討する地域

- 敷地内の緑地整備や建物の高さ制限など、周辺の自然景観との調和に配慮した景観形成を誘導する。

(主)袋井春野線・(主)掛川天竜線等の主要な幹線道路

- 観光客等を出迎え、森町をイメージ付ける重要な役割を有しているため、街路樹や法面などの適切な維持管理により良好な沿道の形成を図るとともに、屋外広告物などの適正な設置誘導等を図りながら、周辺の自然環境や田園景観に調和した道路景観の形成を図る。

都市全域

- 良好な景観の形成と風致の維持を図り、また、安全な都市活動を支えるため、屋外広告物の規模・意匠などについて適正な設置誘導を図る。
- 空き家や空き地等の低未利用地は、景観を悪化させるだけでなく、地域の魅力や防災性の低下にもつながることから、森町空家等対策計画に基づく取組や立地適正化計画の誘導施設・誘導施策等により、利活用に努める。

－ 歴史・文化景観

歴史的な施設・社寺・伝統工芸等の歴史文化資源

- 数多くの貴重な歴史・文化景観資源の保全に努めるとともに、地域の生活の中に息づく文化として継承し、資源のネットワーク化や案内施設の充実などの環境整備を推進して活用を図る。

本町から城下の街道の町並み

- 現存する旧家や蔵などを日々の暮らしや地域の活動の中で利用する取り組み等により保存と利活用を図るなど、歴史的町並み景観の維持・形成に向けた取り組みを促進する。

－ 活動景観

まちづくり活動

- 町民による河川や公園などの清掃や、歴史文化の継承等は良好な景観の維持に大きく寄与しているため、これからも協働によるまちづくり活動が継続・発展するよう努める。
- まちづくり活動に積極的に参画する人材や活動のリーダーとなる人材の育成を推進する。

■ 良好な景観形成にも寄与する具体的な施策（例）

自然景観	・河川改修事業、除草・支障木の伐採 ・町民や企業との協働による環境美化活動の促進 ・植樹イベント等の開催
集落景観	・グリーンツーリズム事業の展開 ・急須でお茶を飲む町づくりの推進 ・特産品のブランドを い 活 かし た 販 売 促 進 ・6次産業化推進事業の推進 ・土地基盤整備事業の推進 ・遊休農地の有効利用の促進
都市景観	・グリーンバンク事業の推進 ・新東名高速道路森掛川インターチェンジ周辺整備の方針検討 ・玄関口となる新東名高速道路インターチェンジや駅などから、観光スポットまでの案内サイン整備
歴史・文化景観	・古い町並み及び蔵の利活用と保存の支援 ・古い町屋や蔵の価値を再認識するための調査及び保全活動の推進
活動景観	・町民の文化活動支援

⑤ 移動の中の移り変わりで魅せる景観づくり

－ 自然景観

森林・丘陵地・里山・社寺林など、生活に身近な緑

- ハイキング、サイクリング、森林浴など、健康づくりや観光交流を図る場として、自然とのふれあいの場、憩いの場として活用を図る。

歴史の面影を残す
天方城跡や東海
自然歩道など

- 由緒ある寺院を結び、歴史の面影を残す東海自然歩道や、戦国時代の伝説が残る戦国夢街道ハイキングコースは、適切な維持・管理を継続する。

太田川・
三倉川などの
河川

- 生活に潤いを与える身近な水辺景観として、川のもつ治水・利水機能を考慮しつつ周辺環境や景観に配慮した河川整備を推進するとともに、水質の浄化などにより保全する。

- 川遊び、アユ釣り、散策・サイクリングなど、自然とのふれあいの場として活用を図る。

太田川ダム・
かわせみ湖
周辺

- 北部の山間地におけるランドマークとなる景観として、豊かな森林などの緑の景観と調和を図りながら公園や遊歩道などの整備を促進し、保全、活用を図る。

－ 集落景観

歴史の面影を
残す景観

- 秋葉街道の常夜灯など、市街地においても歴史の面影を感じることができる景観の保全を図る。

- 小國神社につながる沿道は、遠州森町スマートインターチェンジの周辺活用により、地域固有の歴史・文化等を活かした施設の整備などへの波及を狙う。

－ 都市景観

家の庭に植え
られた花や
木々の緑や街
路樹など

- 潤いと落ち着きのある四季の彩りがある住宅地景観の形成・創出のため、建築物の適切な配置誘導と生け垣や庭木等による緑化推進など、地区計画制度や建築協定等を活用した町民の自主的な活動を支援する。

(主)袋井春野
線・(主)掛川
天竜線等の主
要な幹線道路

- 観光客等を出迎え、森町をイメージ付ける重要な役割を有しているため、街路樹や法面などの適切な維持管理により良好な沿道の形成を図るとともに、屋外広告物などの適正な設置誘導等を図りながら、周辺の自然環境や田園景観に調和した道路景観の形成を図る。

－ 歴史・文化景観

歴史的な施
設・社寺・伝統
工芸等の歴史
文化資源

- 数多くの貴重な歴史・文化景観資源の保全に努めるとともに、地域の生活の中に息づく文化として継承し、資源のネットワーク化や案内施設の充実などの環境整備を推進して活用を図る。

■ 参考：エリアや軸の景観現況を基にした施策の整理

「2. 計画の実現に関する施策」は基本方針及び景観要素ごとに整理したため、参考資料としてエリアや軸の景観現況ごとに施策を整理しました。

基本方針	景観資源	分類	計画の実現に関する施策	エリアや軸の景観現況					
				(1) 自然形成 区域	(2) 田園集落 区域	(3) 産業振興 区域	(4) 暮らし・歴 史集積区域	(5) 主要な河川 ・道路区域	
① 五感で感じら れる景観づく り	自然景観	生活に身近な緑	・市街地及び既存集落地の良好な背景となる自然景観として保全する。 ・ハイキング・サイクリング、森林浴など、健康づくりや観光交流を図る場として、また自然とのふれあいの場、憩いの場として活用を図る。 ・城ヶ平公園や町民の森、さざんか荘跡地、庵山、旧森中学校跡地等は、良好な眺望景観が得られることから、保全・整備を図る。	●	●	－	－	－	
		河川	・生活に潤いを与える身近な水辺景観として、川のもつ治水・利水機能を考慮しつつ周辺環境や景観に配慮した河川整備を推進するとともに、水質の浄化などにより保全する。 ・川遊び、アユ釣り、散策・サイクリングなど、自然とのふれあいの場として活用を図る。	●	●	－	－	●	
		太田川ダム・かわせみ湖周辺	・北部の山間地におけるランドマークとなる景観として、豊かな森林などの緑の景観と調和を図りながら公園や遊歩道などの整備を促進し、保全、活用を図る。	●	－	－	－	－	
	集落景観	田畑・茶園	・生活とともにある農業景観として、都市的土地利用と調和を図りながら農地の保全、整備に努める。 ・農業の活性化により景観を保全するという観点から、グリーンツーリズム、農産物のブランディング等、田畑・茶園景観の活用を推進する。 ・農産物生産以外での利用や、農産物のブランド化、農地の集団化・流動化等により、耕作放棄地の利用促進を図る。	●	●	－	－	－	
		行事	・地域の自然・歴史・風土に培われた生活の中に息づく文化景観として、町民による自主的な文化活動や、文化団体、指導者・文化財伝承者の育成を支援し、継承に努める。	●	●	－	●	●	
	活動景観	行事	・森町体験の里アクティ森やコテージ・アクティ、吉川キャンプ場などは、自然を楽しむ活動景観がある場として適切な維持管理を進め、これからも活用を続けていく。	●	－	－	－	－	
② 四季の移ろ いが感じられ る景観づくり	自然景観	生活に身近な緑	・良好な自然緑地として保全するとともに、四季折々の風景を演出する景観要素として保全を図る。	●	●	●	●	●	
	集落景観	田畑・茶園	・四季によって田畑や茶園の色彩が移り変わるため、生活を彩る景観として、都市的土地利用と調和を図りながら農地の保全、整備に努める。 ・農業の活性化により景観を保全するという観点から、グリーンツーリズム、農産物のブランディング等、田畑・茶園景観の活用を推進する。 ・農産物生産以外での利用や、農産物のブランド化、農地の集団化・流動化等により、耕作放棄地の利用促進を図る。	●	●	－	－	－	
		都市景観	花や木々の緑や街路樹 公園などの公共空間	・潤いと落ち着きのある四季の彩りがある住宅地景観の形成・創出のため、建築物の適切な配置誘導と生け垣や庭木等による緑化推進など、地区計画制度や建築協定等を活用した町民の自主的な活動を支援する。 ・町民や地域の協力を得ながら、花や樹木による豊かな緑地スペースの確保に努める。	●	●	－	●	●
	歴史・ 文化景観	神社や寺院を彩る花木や紅葉	・歴史とともに四季の移ろいを感じさせる景観が多く存在し、町民や観光客をひきつける要素となっているため、これからも保全を図る。	●	●	－	●	－	
		行事	・体験型・交流型観光商品等と四季折々で楽しめる花めぐりや祭事、定期開催のイベントとの連携を図っていくことで、付加価値を高めていく。 ・地域の自然・歴史・風土に培われた生活の中に息づく文化景観として、町民による自主的な文化活動や、文化団体、指導者・文化財伝承者の育成を支援し、継承に努める。	●	●	－	●	●	
	③ 歴史ある社 寺・町並み・ 伝統芸能を 活かした個 性ある景観 づくり	自然景観	天方城跡や東海自然歩道など	・天方城跡が残る城ヶ平公園は、歴史や自然がセットとなった景観を感じる場として活用するとともに、良好な眺望景観が得られることから、眺望点として維持・保全を図る。 ・由緒ある寺院を結び、歴史の面影を残す東海自然歩道や、戦国時代の伝説が残る戦国夢街道ハイキングコースは、適切な維持・管理を継続する。	●	●	－	－	－
集落景観		歴史の面影を残す景観	・秋葉街道の常夜灯など、市街地においても歴史の面影を感じることができる景観の保全を図る。 ・小國神社につながる沿道は、遠州森町スマートインターチェンジの周辺活用により、地域固有の歴史・文化等を活かした施設の整備などへの波及を狙う。	●	●	－	●	－	
		歴史・ 文化景観	歴史文化資源	・数多くの貴重な歴史・文化景観資源の保全に努めるとともに、地域の生活の中に息づく文化として継承し、資源のネットワーク化や案内施設の充実などの環境整備を推進して活用を図る。 ・現存する旧家や蔵などを日々の暮らしや地域の活動の中で利用する取り組み等により保存と利活用を図るなど、歴史的町並み景観の維持・形成に向けた取り組みを促進する。 ・良好な景観の形成と風致の維持を図り、また、安全な都市活動を支えるため、屋外広告物の規模・意匠などについて適正な設置誘導を図る。 ・空き家や空き地等の低・未利用地は、景観を悪化させるだけでなく、地域の魅力や安全性の低下にもつながることから、森町空家等対策計画に基づく取り組みや立地適正化計画の誘導施設・誘導施策等により、利活用に努める。	●	●	－	●	●
本町から城下までの街道の町並み			・重点的に景観形成を図るべきエリアにおいて、目指すべき姿(景観ビジョン)やそれに向けた具体施策などを示し、観光客の満足度向上や住民の誇りや愛着の醸成を図るため、観光地エリア景観計画の策定を検討する。	－	－	－	●	－	
活動景観		歴史的な景観資源があるエリア	・重点的に景観形成を図るべきエリアにおいて、目指すべき姿(景観ビジョン)やそれに向けた具体施策などを示し、観光客の満足度向上や住民の誇りや愛着の醸成を図るため、観光地エリア景観計画の策定を検討する。	●	●	－	●	●	
		歴史的な資源を活用したイベント	・地域の自然・歴史・風土に培われた、生活の中に息づく文化景観として引き続き継承していくため、町民による自主的な文化活動や、文化団体指導者・文化財伝承者の育成を支援する。 ・「町並みと蔵展」や「森はたる」、「ぶぶふの日」などは活動とセットで自然景観や歴史景観を感じることができるため、各地で開催されているイベントを運営する組織など、町民等を主体としたまちづくり活動組織を把握するとともに、組織同士の連携が図れる場や機会を創出する。また、これらの組織と連携・運動により、「遠州の小京都」が感じられるもてなしを実施していく。	●	●	●	●	－	
④ 協働で愉し む景観づくり	自然景観	生活に身近な緑	・町民参加によるイベントなどを通じて、森林のもつ多面的な機能や林業の大切さ、森林整備の必要性などに関する理解を促進する。	●	●	－	－	－	
		河川	・河川美化運動などにより、良好な河川環境を保全する。	－	－	－	－	●	
	集落景観	田畑・茶園	・農業の活性化により景観を保全するという観点から、グリーンツーリズム、農産物のブランディング等、田畑・茶園景観の活用を推進する。 ・農産物生産以外での利用や、農産物のブランド化、農地の集団化・流動化等により、耕作放棄地の利用促進を図る。	●	●	－	－	－	
		既存集落地	・農家住宅を主とした建築物や生け垣・屋敷林等の保全により、周辺環境の保全と、それらに調和した落ち着いた良好な田園・里山集落景観の維持を図る。 ・また、山里の魅力と暮らしぶりを伝え地域活性化を目指す「ぶぶふの日」など、集落地景観を活かした取り組み支援を図る。	●	●	－	－	－	
		都市景観	住宅地	・良好な町並み景観の形成・創出により居住地としての魅力と価値を高めていくため、建築物の適切な配置誘導と生け垣や庭木等による緑化を推進するなど、地区計画制度や建築協定等を活用した町民の自主的な活動を支援し、周辺環境と調和した落ち着いた豊かな住宅地景観の形成・創出を促進する。	●	●	－	●	－
	公共施設		・多くの利用者があり市街地内のランドマークとなる大規模施設は、都市のイメージを形成する重要な役割を持つため、緑地スペースの確保に努めるとともに、施設の良好な景観形成のための配慮と合わせて、周辺の環境整備を進める。	●	●	－	●	－	
	産業系土地利用・産業系土地利用を検討する地域		・敷地内の緑地整備や建物の高さ制限など、周辺の自然景観との調和に配慮した景観形成を誘導する。	－	－	●	－	－	
	主要な幹線道路		・観光客等を出迎え、森町をイメージ付ける重要な役割を有しているため、街路樹や法面などの適切な維持管理により良好な沿道の形成を図るとともに、屋外広告物などの適正な設置誘導等を図りながら、周辺の自然環境や田園景観に調和した道路景観の形成を図る。	－	－	●	－	●	
	都市全域		・良好な景観の形成と風致の維持を図り、また、安全な都市活動を支えるため、屋外広告物の規模・意匠などについて適正な設置誘導を図る。 ・空き家や空き地等の低未利用地は、景観を悪化させるだけでなく、地域の魅力や防災性の低下にもつながることから、森町空家等対策計画に基づく取り組みや立地適正化計画の誘導施設・誘導施策等により、利活用に努める。	●	●	－	●	－	
	歴史・ 文化景観		歴史文化資源	・数多くの貴重な歴史・文化景観資源の保全に努めるとともに、地域の生活の中に息づく文化として継承し、資源のネットワーク化や案内施設の充実などの環境整備を推進して活用を図る。 ・現存する旧家や蔵などを日々の暮らしや地域の活動の中で利用する取り組み等により保存と利活用を図るなど、歴史的町並み景観の維持・形成に向けた取り組みを促進する。 ・町民による河川や公園などの清掃や、歴史文化の継承等は良好な景観の維持に大きく寄与しているため、これからも協働によるまちづくり活動が継続・発展するよう努める。	●	●	－	●	●
	活動景観	まちづくり活動	・まちづくり活動に積極的に参画する人材や活動のリーダーとなる人材の育成を推進する。	●	●	●	●	●	
	⑤ 移動の中の 移り変わりで 魅せる景観 づくり	自然景観	生活に身近な緑	・ハイキング、サイクリング、森林浴など、健康づくりや観光交流を図る場として、自然とのふれあいの場、憩いの場として活用を図る。	●	●	－	－	－
			天方城跡や東海自然歩道など	・由緒ある寺院を結び、歴史の面影を残す東海自然歩道や、戦国時代の伝説が残る戦国夢街道ハイキングコースは、適切な維持・管理を継続する。	●	●	－	－	－
河川			・生活に潤いを与える身近な水辺景観として、川のもつ治水・利水機能を考慮しつつ周辺環境や景観に配慮した河川整備を推進するとともに、水質の浄化などにより保全する。 ・川遊び、アユ釣り、散策・サイクリングなど、自然とのふれあいの場として活用を図る。	●	●	－	－	●	
太田川ダム・かわせみ湖周辺			・北部の山間地におけるランドマークとなる景観として、豊かな森林などの緑の景観と調和を図りながら公園や遊歩道などの整備を促進し、保全、活用を図る。	●	－	－	－	－	
集落景観		歴史の面影を残す景観	・秋葉街道の常夜灯など、市街地においても歴史の面影を感じることができる景観の保全を図る。 ・小國神社につながる沿道は、遠州森町スマートインターチェンジの周辺活用により、地域固有の歴史・文化等を活かした施設の整備などへの波及を狙う。	●	●	●	－	－	
		都市景観	花や木々の緑や街路樹など 主要な幹線道路	・潤いと落ち着きのある四季の彩りがある住宅地景観の形成・創出のため、建築物の適切な配置誘導と生け垣や庭木等による緑化推進など、地区計画制度や建築協定等を活用した町民の自主的な活動を支援する。 ・観光客等を出迎え、森町をイメージ付ける重要な役割を有しているため、街路樹や法面などの適切な維持管理により良好な沿道の形成を図るとともに、屋外広告物などの適正な設置誘導等を図りながら、周辺の自然環境や田園景観に調和した道路景観の形成を図る。	●	●	－	●	－
歴史・ 文化景観			歴史文化資源	・数多くの貴重な歴史・文化景観資源の保全に努めるとともに、地域の生活の中に息づく文化として継承し、資源のネットワーク化や案内施設の充実などの環境整備を推進して活用を図る。	●	●	－	●	●